

つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会 中間報告

平成30年1月に筑波研究学園都市の核施設であった「クレオ」が閉店したことにより、多くの市民から魅力ある中心市街地の実現を求める声やクレオ再生を望む声、公共施設の整備を求める声などが寄せられ、平成31年2月18日につくば市議会は、つくば市全域の活力の創出及び魅力向上を含めたつくば中心市街地の魅力あるまちづくりのための調査研究を目的とした議員27名からなる「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」を全会一致で設置した。

調査特別委員会は、平成31年3月4日以降、延べ13回にわたって中心市街地の様々な現状把握や現地調査、有識者による講演や議員勉強会・意見交換会を行い、令和元年12月20日に、その途中経過を取りまとめた内容を、今後のつくば中心市街地まちづくりについての中間報告として、つくば市長に提言を行った。そして、その中間報告が、「つくば中心市街地まちづくり戦略」（素案）に反映された。

提言後、令和2年1月24日に、「つくば中心市街地まちづくり戦略」（素案）について、つくば市から調査特別委員会に対して説明があり、つくば市議会各会派から出された意見を調査特別委員会で取りまとめ、令和2年3月19日に、今後のつくば中心市街地まちづくりについての提言として、つくば市長に提出した。そして、その提言が「つくば中心市街地まちづくり戦略」に反映された。

「つくば中心市街地まちづくり戦略」策定後、つくばセンタービルリニューアルについての市民意見募集結果について、つくば駅周辺のエリアマネジメント団体検討状況について、調査特別委員会で説明を受けた。

今後の調査特別委員会の活動としては、策定された「つくば中心市街地まちづくり戦略」の進展に伴って、つくばセンタービルリニューアル基本計画について、エリアマネジメントに対する取組について、公務員宿舍跡地の街並み誘導について、パブリックスペースの活用について、適時つくば市から説明を受け、より市民ニーズに沿うよう意見交換を行うものとする。

以上、つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会の中間報告として、報告いたします。